TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	基礎デザイン		担 当 者 名	成田 健志	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	108時間
授業目的	空間の基礎デザインを模型や実物の作品制作を通して学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	空間を最大限利用する方法を考え、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。				
授業概要	建築のデザインが2次元(スケッチや図面)と3次元(模型、実物の空間)を行き来する作業の中から出来上がっていくプロセス・方法を作品制作を通して学ぶ。3mの立方体の空間を1/10スケールの模型で制作し、空間を最大限利用する方法を考え、かたちにする。一枚の紙から作る「ランプシェード」では、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション
	2	オリエンテーション	20	オリエンテーション
	3	オリエンテーション	21	オリエンテーション
	4	紙と鉛筆によるスケッチ、模型製作の基礎	22	フリーハンドスケッチと平行図法
	5	スチレンボードによる模型制作(空間模型)	23	平行図法と1点透視図法
	6	スチレンボードによる模型制作(空間デザイン)	24	1点透視図法と2点透視図法
	7	スケッチパース、空間のデザイン	25	空間のデザイン1(店舗デザイン)
	8	グリッドパース、空間のデザイン	26	空間のデザイン2(アイソメ、1点パース)
	9	木材による模型制作(椅子の模型)	27	空間のデザイン3(2点パース)
	10	模型による空間構成(立体で考える)	28	建築のデザイン1「公園の休憩所」
	11	模型による空間構成(コンセプトを考える)	29	建築のデザイン2(模型制作)
	12	模型による空間構成(素材を考える)	30	建築のデザイン3(模型制作)
	13	模型による空間構成(仕上げ)	31	中間プレゼンテーション(模型及びコンセプト)
	14	模型による空間構成(写真撮影)	32	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)
	15	作品をスケッチパースとして描く	33	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)
	16	光る立体(ランプシェード)エスキス、紙による立体演習	34	空間のデザイン1「通路空間」
	17	光る立体(ランプシェード)制作、パターンによる構成演習	35	建築のデザイン2(模型制作)
	18	作品撮影、プレゼンテーションボード作成(空間デザイン・ランプシェード)	36	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)

成績割合	テスト	60(作品評価)	学習FB方法	
	学習態度・出席率	40%		
	レポート		成績評価	
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫60　R≪実働実践型学習≫20　A≪主体的参加型学習≫20　G≪海外体感型学習≫
講師プロフィール	美術大学で建築を学びました。設計事務所勤務時に美術館・博物館などを担当しました。その後、集合住宅やオフィスなどのデザイン協力や、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加しました。住宅・別荘の設計や、室内・外部空間のデザインなどをしています。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	設計製図1		担 当 者 名	塩田 玲子、アジュナン 奈緒美	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	108時間
授業目的	設計の基本となる製図を基礎から学ぶ。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	最小限果さなければならない条件や、通常の設計製図を行うプロセスを知り、木造、RC造など各種構造体の建物のトレースや詳細図を書くことで、実際の製図に対する理解を深める。　実際の設計に必要なエスキスの進め方、考え方を、製図作業内に組み込むことで、描きながらその過程を学ぶ。				
授業概要	製図の基礎は、建築計画や設計製図の他の課題にも通じる。前期の基礎製図は建築同様に建物全体に重点を置き製図を進める。後期設計製図1においてはインテリアを中心に課題を進める。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	製図の基礎	19	インテリア　設計課題　1-1
	2	線の練習	20	インテリア　設計課題　1-2
	3	木造住宅の図面　1　配置図　平面図	21	インテリア　設計課題　1-3
	4	木造住宅の図面　2　配置図　平面図	22	インテリア　設計課題　1-4
	5	木造住宅の図面　3　配置図　平面図	23	インテリア　設計課題　1-5
	6	木造住宅の図面　4　配置図　平面図	24	インテリア　設計課題　1-6
	7	木造住宅の図面　5　断面図	25	インテリア　設計課題　1-7
	8	木造住宅の図面　6　断面図	26	インテリア　設計課題　2-1
	9	木造住宅の図面　7　立面図	27	インテリア　設計課題　2-2
	10	インテリア　家具レイアウト図1	28	インテリア　設計課題　2-3
	11	インテリア　家具レイアウト図2	29	インテリア　設計課題　2-4
	12	インテリア　家具レイアウト図3	30	インテリア　設計課題　2-5
	13	インテリア　家具レイアウト図4	31	インテリア　設計課題　2-6
	14	インテリア　パース1	32	インテリア　設計課題　2-7
	15	インテリア　パース2	33	ポートフォリオ準備
	16	インテリア　パース3	34	ポートフォリオ準備
	17	インテリア　パース4	35	ポートフォリオ作成
	18	インテリア　パース5	36	ポートフォリオ作成

成績割合			学習FB方法	
	テスト			
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	70%	成績評価	
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50%　R≪実働実践型学習≫50%　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫
講師プロフィール	インテリアデザイン事務所勤務　一級建築士

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	インテリアデザイン史		担 当 者 名	花崎 匠	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	西洋と日本の建築・インテリアの歴史を学ぶ。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	建築士、インテリアコーディネーター資格試験に必要な歴史分野の基礎知識を習得する。 西洋建築史、日本建築史、近代建築史、インテリアデザイン史を通して建築およびインテリアを見る目を養う。				
授業概要	西洋建築史、日本建築史、近代建築史、インテリアデザイン史について、テキスト「学びのポイント建築史」、講師作成のレジュメ、画像資料を用いながら概説する。				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	イントロダクション	19	日本建築史1：神社
2	近代建築史/インテリアデザイン史1：トーネットの曲木家具	20	近代建築史/インテリアデザイン史10：バウハウスI
3	西洋建築史1：古代ギリシャ	21	日本建築史2：寺院I
4	近代建築史/インテリアデザイン史2：シェーカーのデザイン	22	近代建築史/インテリアデザイン史11：バウハウスII
5	西洋建築史2：古代ローマ	23	日本建築史3：寺院II
6	近代建築史/インテリアデザイン史3：アーツアンドクラフツ運動/アール・ヌーヴォー	24	近代建築史/インテリアデザイン史12：ミース・ファン・デル・ローエの建築と家具
7	西洋建築史3：初期キリスト教/ビザンティン	25	日本建築史4：寝殿造/書院/茶室
8	近代建築史/インテリアデザイン史4：ウィーン工房/「装飾と罪悪」	26	近代建築史/インテリアデザイン史13：ル・コルビュジエの建築と家具
9	西洋建築史4：ロマネスク	27	日本建築史5：数寄屋/民家
10	近代建築史/インテリアデザイン史5：ドイツ工作連盟/AEG	28	近代建築史/インテリアデザイン史14：イームズの家具
11	西洋建築史5：ゴシック	29	日本建築史6：日本建築の要素/様式
12	近代建築史/インテリアデザイン史6：イタリア未来派/シュプレマティズム	30	近代建築史/インテリアデザイン史15：アルネ・ヤコブセンの建築とデザイン
13	西洋建築史6：ルネッサンス	31	近代建築史/インテリアデザイン史16：デンマークの家具と照明デザイン
14	近代建築史/インテリアデザイン史7：ロシア構成主義	32	近代建築史/インテリアデザイン史17：現代スイスの建築
15	西洋建築史7：バロック	33	近代建築史/インテリアデザイン史18：倉俣史朗のインテリアと家具
16	近代建築史/インテリアデザイン史8：デスティルI	34	近代建築史/インテリアデザイン史19：現代日本の住宅
17	西洋建築史8：新古典主義	35	
18	近代建築史/インテリアデザイン史9：デスティルII	36	

成績割合	テスト	0%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	40%		
	レポート	60%	成績評価	出席率80%以上 S：90～100点、A：80～89点、B：70～79点、C：60～69点、D：59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫
講師プロフィール	建築設計・インテリアデザイン・サインデザイン・グラフィックデザイン事務所代表。専門学校非常勤講師歴26年。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	インテリアデザイン演習		担 当 者 名	花崎 匠	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	後期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	インテリアデザインの基礎を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	インテリアデザインの基礎知識を習得する。 プレゼンボード制作の基礎技術を習得する。				
授業概要	インテリアデザインの基礎知識について、テキスト「インテリアデザイン入門」を用いながら概説する。 出力画像を使用して各エレメントのアナログプレゼンボード制作を行う。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	
	2	インテリアデザインの仕事「対象」「業種・職種」	20	
	3	インテリアを構成する要素「家具・照明・設備・その他」	21	
	4	インテリアの色彩計画とスタイル	22	
	5	インテリアの照明計画	23	
	6	寸法とモジュール	24	
	7	インテリアの構造と仕上げ	25	
	8	演習課題：私の部屋のインテリアコーディネート スタイルイメージボード	26	
	9	演習課題：私の部屋のインテリアコーディネート エレメント「家具」	27	
	10	演習課題：私の部屋のインテリアコーディネート エレメント「照明」	28	
	11	演習課題：私の部屋のインテリアコーディネート エレメント「住宅設備I」	29	
	12	演習課題：私の部屋のインテリアコーディネート エレメント「住宅設備II」	30	
	13	演習課題：私の部屋のインテリアコーディネート 床壁天井の素材と色彩	31	
	14	演習課題：私の部屋のインテリアコーディネート エレメント「ウインドートリートメント・その他」	32	
	15	演習課題：私の部屋のインテリアコーディネート 床壁天井の素材と色彩	33	
	16	演習課題：私の部屋のインテリアコーディネート プレゼンテーション	34	
	17	まとめ	35	
	18	まとめ	36	

成績割合	テスト	60%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	40%		
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S：90～100点、A：80～89点、B：70～79点、C：60～69点、D：59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	建築設計・インテリアデザイン・サインデザイン・グラフィックデザイン事務所代表。専門学校非常勤講師歴26年			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	空間デザイン1		担 当 者 名	竹内 美知子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	108時間
授業目的	「快適で暮らしよい住生活」を提案できるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	居室や水回りスペースの機能や用途を学習し、住空間全体におけるスペース取りや、動線計画、適切なインテリア計画ができるように基本を学ぶ。				
授業概要	講義で学習したインテリアコーディネーションの知識を演習や課題を通して確立させる。				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	オリエンテーション	19	キッチンルームの基本①
2	日本と欧米のインテリアについて	20	キッチンルームの基本②
3	住空間の構成について	21	ユーティリティー、サニタリーの基本
4	ベッドルームの基本①	22	課題 ＜ワンルーム計画＞ 1. 課題説明
5	ベッドルームの基本②	23	2. クライアント分析①
6	＜演習＞ 配置計画 他	24	クライアント分析② →決定
7	リビングルームの基本①	25	4. プランコンセプト作成
8	リビングルームの基本②	26	5. 平面プラン作成
9	＜演習＞ 配置計画 他	27	6. 各エレメント選択①
10	ダイニングルームの基本①	28	各エレメント選択②
11	ダイニングルームの基本②	29	7. 平面図・パース作成①
12	＜演習＞ 配置計画 他	30	平面図・パース作成②
13	子供部屋の基本的な考え方①	31	8. ボード作成①
14	子供部屋の基本的な考え方②	32	ボード作成②
15	玄関・廊下の基本①	33	ボード作成③ → 提出
16	玄関・廊下の基本②	34	課題 プレゼンテーション
17	前期期末試験	35	後期期末試験
18	解答・解説 まとめ	36	解答・解説 まとめ

成績割合	テスト	課題70%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点、A80～89、B70～79点、C60～69点、D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫80% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	長年インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	インテリアエレメント1		担 当 者 名	竹内 美知子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	各エレメントの基本的な用語や基礎知識を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各エレメントについて学習し、住空間のトータルコーディネーションが適切に行えるようにする。				
授業概要	講義が中心となり、わかりにくい単元ではDVDを用いて映像により理解を深める。				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	オリエンテーション	19	2.壁・天井材の種類と特徴 ①
2	＜家具＞ 1.生活と家具について	20	壁・天井材の種類と特徴 ②
3	2.家具の分類や機能について	21	壁・天井材の種類と特徴 ③
4	3.家具の選択要件 他 ①	22	3.内装材の施工について ①
5	家具の選択要件 他 ②	23	内装材の施工について ②
6	4.有名デザイナーの椅子 他	24	＜建具金物＞ 1.ドア製品の種類
7	5.椅子の構造 他 ①	25	2.和建具の種類・特徴 他 ①
8	椅子の構造 他 ②	26	和建具の種類・特徴 他 ②
9	6. ベッドの名称・構造 他 ①	27	3.洋建具の種類・特徴 他 ①
10	ベッドの名称・構造 他 ②	28	洋建具の種類・特徴 他 ②
11	7.家具金物 他	29	4.建具金物の種類・特徴 他 ①
12	8.家具の素材・塗装 他 ①	30	建具金物の種類・特徴 他 ②
13	家具の素材・塗装 他 ②	31	5.窓製品の種類・特徴 他 ①
14	＜内装材＞ 1.各床材の種類と特徴 ①	32	窓製品の種類・特徴 他 ②
15	各床材の種類と特徴 ②	33	後期期末試験
16	各床材の種類と特徴 ③	34	解答・解説 まとめ
17	前期期末試験	35	まとめ・確認テスト ①
18	解答・解説 まとめ	36	まとめ・確認テスト ②

成績割合	テスト	85%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	5%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	長年インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	CAD演習1		担 当 者 名	成田 健志、髙井 英光	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	建築設計、コンピューターによる模型作成の基礎を学ぶ。 初歩的な設計演習を通して、3Dソフトを使い、基礎的な立体模型を作成する。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	基礎的な立体模型を作成するソフトウェアの使い方を習得する。				
授業概要	課題を行うことは前提だが、こなすだけではなく、自分がどの建物もどの部分を書いているか、建築名称や用途などを理解させながら書かせていきたい。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	スケッチアップの概要
	2	簡単な形の作成1	20	基本操作ーボリュームの作成
	3	構造フレームの作成1	21	基本操作ー移動と回転
	4	構造フレームの作成2	22	基本操作ーテクスチャー操作
	5	ライン、平面、ボリュームの演習（傾斜した屋根をもつ構造体の作成1	23	基本操作ー外部データの取り込み
	6	ライン、平面、ボリュームの演習（傾斜した屋根をもつ構造体の作成2	24	基本操作ー簡単な形の作成
	7	簡単な形をテーブルに変形1	25	室内の作成1
	8	簡単な形をテーブルに変形2	26	室内の作成2
	9	材料、カラー、照明、設定の視点の演習（パビリオンの作成）1	27	室内の作成3
	10	材料、カラー、照明、設定の視点の演習（パビリオンの作成）2	28	照明の作成方法
	11	ブーリアンの演習	29	室内店舗の作成1
	12	変形の演習（いろいろなサイズの窓を作りビルの壁面の開口部に設置)1	30	室内店舗の作成2
	13	変形の演習（いろいろなサイズの窓を作りビルの壁面の開口部に設置)2	31	室内店舗の作成3
	14	回転、スウィープの演習（タワーの作成）1	32	室内店舗の作成4
	15	回転、スウィープの演習（タワーの作成）2	33	室内店舗の作成5
	16	曲面の演習（曲面をもった屋根構造の作成）	34	自己設計課題
	17	曲面、メッシュを駆使して有機的な屋根を制作	35	自己設計課題
	18	ファイル形式の変換（Dxf,Dwg)の演習（VW　AutoCADで作った図面を利用してファサードを作成）	36	発表会

成績割合	テスト	10%	学習FB方法	課題の完成度、出席、授業態度等を総合的に勘案して決定する。 前期・後期　成績表送付
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	80%	成績評価	出席率80%以上：S90～100点、A80～89、B70～79点、C60～69点、D59以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50%　R≪実働実践型学習≫20%　A≪主体的参加型学習≫20%　G≪海外体感型学習≫10%			
講師プロフィール	・アジュナン奈緒美　一級建築士 ・髙井英光　一級建築士事務所所長　一級建築士　大学院　博士課程終了　全日本建築士会　一級建築士講座講師 ・成田健志　生活の中の美術としての建築やインテリア(空間のデザイン)を考えながら、設計・デザインの仕事をしています。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	色彩学1		担 当 者 名	岩崎 沙織	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	色彩検定3級合格を目指し色彩学の基礎を学ぶ。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	色彩検定3級のテキストで色彩の各分野の基礎を学び、検定合格を目指します。実技演習にも取り組み、インテリアに必要不可欠な色彩に関する知識・テクニックを身につけます。				
授業概要	色彩検定3級、後期途中からは2級の学習を座学形式で行います。また、配色カードを使った配色演習や検定試験対策ミニテスト、過去問集を通して、確実に色彩学の基礎を身につけられるよう導きます				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	授業概要・色彩検定について　色のはたらき	19	ファッション
	2	光と色1（色はなぜ見えるのか？）	20	インテリア
	3	光と色2（眼の仕組み・照明と色の見え方）	21	過去問テスト 1
	4	光と色3（混色）	22	過去問テスト 2
	5	まとめ	23	過去問テスト 3
	6	色の表示1（色の分類と三属性）	24	検定直前チェック
	7	色の表示2（PCCS）	25	検定試験の解説・検定試験2級についての説明
	8	色彩心理1（色の心理効果）	26	色のユニバーサルデザイン 1
	9	色彩心理2（色の視覚効果）	27	色のユニバーサルデザイン 2
	10	色彩調和1（色相を手がかりにした配色）	28	光と色 1
	11	色彩調和2（トーンを手がかりにした配色）	29	光と色 2
	12	色彩調和3（色相とトーンを組み合わせた配色・配色の基本的な技法）	30	マンセル表色系 1
	13	配色イメージ・慣用色名	31	マンセル表色系 2
	14	まとめ	32	色彩心理
	15	期末試験・解説	33	色彩調和 1
	16	復習	34	色彩調和 2
	17	復習	35	まとめ
	18	復習	36	まとめ

成績割合	テスト	70%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	20%		
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫80%　R≪実働実践型学習≫50%　A≪主体的参加型学習≫70%　G≪海外体感型学習≫30%			
講師プロフィール	色彩講師歴10年。広告会社勤務やアパレル販売の経験を活かして、より実践的な色彩の学びを提供しています。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	居住学		担 当 者 名	吉澤 千鶴子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	変化する社会環境の中で、ともに変化する日常の暮らしを通して、これからの住宅のありかたを考える力を身に着ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	住宅(住まい)は生活行為の集まりで成り立っていて、その生活は環境によって大きく変化すること体系的に理解する。				
授業概要	「私たちの住居学」というテキストに沿って、「サスティナブル社会」「バリアフリーデザイン」「ユニバーサルデザイン」「ノーマラーゼーション」などをキーワードに住まいと暮らしを学ぶ。 自らの暮らしを通して思考する課題に取り組む機会も設ける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション1	19	住まいの維持管理①
	2	サスティナブル社会の住まい①	20	住まいの維持管理②
	3	サスティナブル社会の住まい②	21	住まいの維持管理③
	4	サスティナブル社会の住まい③	22	住まいの維持管理④
	5	サスティナブル社会の住まい④	23	住生活のための人間工学①
	6	住まいを取り巻く環境①	24	住生活のための人間工学②
	7	住まいを取り巻く環境②	25	住生活のための人間工学③
	8	住まいを取り巻く環境③	26	住生活のための人間工学④
	9	住まいを取り巻く環境④	27	住まいに必要な環境調整①
	10	住まいを取り巻く環境⑤	28	住まいに必要な環境調整②
	11	住まいを取り巻く環境⑥	29	住まいに必要な環境調整③
	12	住生活のあり方とその変遷①	30	住まいに必要な環境調整④
	13	住生活のあり方とその変遷②	31	子育て家族の住まい、シングルの住まい①
	14	住生活のあり方とその変遷③	32	子育て家族の住まい、シングルの住まい②
	15	住生活のあり方とその変遷④	33	子育て家族の住まい、シングルの住まい③
	16	住生活のあり方とその変遷⑤	34	子育て家族の住まい、シングルの住まい④
	17	住生活のあり方とその変遷⑥	35	まとめ1
	18	前期のまとめ	36	まとめ2

成績割合	テスト	50%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	25%		
	レポート	25%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点　A80~89点　B70~79点　C60~69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫70%　R≪実働実践型学習≫30%　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	大学卒業後、建築設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰。 住宅設計に携わりながら、工学系専門学校非常勤講師として設計の手法を指導。また大学の公開講座等で、2級建築士や福祉住環境コーディネーターなど建築系の資格取得支援を行う。教材作成、出版、通信講座の添削等も担当。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	一般構造		担 当 者 名	宮下 紘幸	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造を中心に、構造の原理や骨組みの構成について学ぶ。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	木構造については、内外の仕上げの構造についても学ぶ。さらに、建築構造に関する基礎的なことばについては、十分に理解度出来ることを目標とする。				
授業概要	一般構造で学ぶ用語や知識は、インテリアコーディネーターを目指すうえで設計、施工など他の科目の基本となるものである。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	建築構造の概要 構造の分類と形	19	RC構造の原理と特徴1 構造形式
	2	建物に作用する力1	20	RC構造の原理と特徴2 基礎の構造
	3	建物に作用する力2	21	RC構造の原理と特徴3 構造計画の概要 柱の構造と配筋
	4	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築1	22	RC構造の原理と特徴4 はりの構造と配筋
	5	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築2	23	RC構造の原理と特徴5 スラブおよび壁の構造と配筋
	6	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築3	24	RC構造の原理と特徴6 RC構造演習
	7	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築4	25	鉄骨構造の原理と特徴1 構造形式
	8	木構造の特徴と種類1 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口	26	鉄骨構造の原理と特徴2 接合方法
	9	木構造の特徴と種類2 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	27	鉄骨構造の原理と特徴3 高力ボルト接合 溶接
	10	木構造の特徴と種類3 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	28	鉄骨構造の原理と特徴4 はり、柱の構造
	11	木構造の特徴と種類4 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	29	鉄骨構造の原理と特徴5 柱脚、基礎
	12	木構造の特徴と種類 耐震設計の基礎1	30	鉄骨構造の原理と特徴6 耐火被覆
	13	木構造の特徴と種類 耐震設計の基礎2	31	鉄骨構造の原理と特徴7 構造形式
	14	2x4の概要1 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	32	鉄骨構造の原理と特徴8 接合方法
	15	2x4の概要2 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	33	鉄骨構造の原理と特徴9 高力ボルト接合
	16	2x4の概要3 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	34	鉄骨構造の原理と特徴10 溶接
	17	木造の内壁、天井、床の構造1 下地と仕上げの構造 書院、床の間の構造	35	その他の構造1 鉄骨鉄筋コンクリート構造
	18	木造の内壁、天井、床の構造2 下地と仕上げの構造 書院、床の間の構造	36	その他の構造2 コンクリートブロック造

成績割合	テスト	70%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	30%		
	レポート		成績評価	出席率80％ S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50 R≪実働実践型学習≫50 A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	建築系実務と高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士 インテリアコーディネーター			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	インテリアコーディネーター演習1		担 当 者 名	竹内 美知子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	○「インテリアコーディネートの基本」や「インテリアスタイル」を学び、トータルコーディネーションが円滑にできるようにする。 ○インテリアコーディネーター資格取得を目指す。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	○トータルコーディネーションが実践できるようにする。 ○インテリアコーディネーター資格取得のため、小テストや過去問を用いて合格ラインを目指す。				
授業概要	○インテリアイメージ確立のためのスタイル分類を学ぶ。 ○資格取得のための講義とそれに対する小テストや過去問による知識の確認をする。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	4.エレメント選択
	2	※インテリアコーディネートの基本 ①	20	a.モダン・カジュアル ①
	3	※インテリアコーディネートの基本 ②	21	a.モダン・カジュアル ②
	4	＜ウインドウトリートメント＞ 1. ウインドウトリートメントの機能と種類	22	a.モダン・カジュアル ③
	5	2.カーテンスタイル ①	23	b.クラシック・エレガント ①
	6	カーテンスタイル ②	24	b.クラシック・エレガント ②
	7	3.織物の種類 ①	25	b.クラシック・エレガント ③
	8	織物の種類 ②	26	5.各ボード作成 ①
	9	4.カーテン生地の加工と染色	27	各ボード作成 ②
	10	5. カーテンの採寸・施工 他 ①	28	各ボード作成 ③ → 提出
	11	カーテンの採寸・施工 他 ②	29	＜IC資格試験対策＞ 1.ガラス製品の種類と特徴 他 ①
	12	6.カーテンプランニングの注意点	30	ガラス製品の種類と特徴 他 ② 小テスト・過去問演習
	13	＜課題＞ スタイル分類 課題説明	31	2.塗料・塗装の種類と特徴 他 ①
	14	1.インテリアスタイルの種類について	32	塗料・塗装の種類・特徴 他 ② 小テスト・過去問演習
	15	2.イメージスケールの確認	33	後期期末試験
	16	3.ボードの作り方 他	34	解答・解説 まとめ
	17	前期期末試験	35	まとめ・確認テスト ①
	18	解答・解説 まとめ	36	まとめ・確認テスト ②

成績割合	テスト	80%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫80% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	長年インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	デザインワーク1		担 当 者 名	宗像 重幸	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	108時間
授業目的	○各自がデザインし制作した作品を実際に使用し、自身が掲げたテーマやコンセプトを確認する。 ○スケッチから完成までのデザインワーク一連を体験する。 ○造形と構造、素材の関係性の考察。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	○基本的な三面図の理解と描き方の習得 ○素材の特性の理解 ○基礎的な工具や機械の扱い方、加工法の習得				
授業概要	年間を通してスツールのデザインと制作を行う。そのために前期後期で以下のような内容で授業を行う ○前期：制作にあたり必要な工具・道具類の使用方法を習得し演習を行う。スツールをデザインするためにリサーチ、アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデルを制作し決定したデザインを元に最終的なモデルと原寸三面図を制作しプレゼンテーションする。 ○後期：機械の説明。木取り、切り出し、製材、組手・仕口加工、仕上げ、塗装等実作業				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	オリエンテーション。 手工具の説明。 接手演習。	19	製材作業 組手、仕口加工
2	手工具、機械の説明。 接手演習。	20	組手、仕口加工
3	手工具、機械の説明。 接手演習。	21	製材作業 組手、仕口加工
4	手工具、機械の説明。 接手演習。	22	製材作業 組手、仕口加工
5	スツール課題説明。 リサーチ、アイデアスケッチ 三面図解説。三面図演習。	23	製材作業 組手、仕口加工 外形切り出し
6	リサーチ、アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデル 三面図解説。 三面図演習。	24	組手、仕口加工 外形切り出し 接着作業
7	リサーチ、アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデル 三面図解説。 三面図演習。	25	組手、仕口加工 外形切り出し 接着作業
8	アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデル 三面図解説。三面図演習。	26	木地調整 塗装作業
9	アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデル	27	プレゼンテーション
10	アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデル	28	まとめ
11	アイデアスケッチ、1/5図面、1/5モデル、原寸図	29	まとめ
12	モデル、原寸図作成	30	まとめ
13	モデル、原寸図作成	31	
14	モデル、原寸図作成 原寸図提出	32	
15	原寸図修正 木取り作業	33	
16	機械、工具説明。 木取り作業。 クロスカット 製材作業	34	
17	機械、工具説明。 木取り作業。クロスカット 製材作業 組手、仕口加工	35	
18	機械、工具説明。 木取り作業。クロスカット 製材作業 組手、仕口加工	36	

成績割合	テスト	%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	40%		
	レポート	60（プレゼンテーション、提出物）	成績評価	
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20 R≪実働実践型学習≫50 A≪主体的参加型学習≫30 G≪海外体感型学習≫0
講師プロフィール	木工工房主宰。 注文家具の制作を中心に作家活動。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	ユニバーサルデザイン概論		担 当 者 名	吉澤 千鶴子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	福祉住環境コーディネーター2級試験合格のための対策講座				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	建築やインテリアに関わる職種に必携の福祉住環境コーディネーター2級を在学中に取得することを目標に定めている。				
授業概要	東京商工会議所から発行されてる公式テキストに沿って、内容を解説し、演習を繰り返しながら知識を定着させていく。 単なる暗記ではなく、学生が「福祉住環境」のありかたを自ら考えることができるようになるような指導を心がける。 居住学テキストの中にある福祉住環境に関する内容にもふれる。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション1	19	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備1 脳血管障害
	2	高齢者・障碍者とバリアフリーデザイン	20	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備2 廃用症候群
	3	誰にも優しいユニバーサルデザイン	21	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備3 骨折
	4	生活行為別の福祉住環境整備の手法1 外出①	22	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備4 認知症
	5	生活行為別の福祉住環境整備の手法2 外出②	23	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備5 関節リウマチ
	6	生活行為別の福祉住環境整備の手法3 屋内移動①	24	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備6 パーキンソン病
	7	生活行為別の福祉住環境整備の手法4 屋内移動②	25	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備7 糖尿病
	8	生活行為別の福祉住環境整備の手法5 排泄	26	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備8 心筋梗塞
	9	生活行為別の福祉住環境整備の手法6 入浴	27	障害別にみた福祉住環境整備1 肢体不自由
	10	生活行為別の福祉住環境整備の手法7 更衣	28	障害別にみた福祉住環境整備2 内部障害
	11	生活行為別の福祉住環境整備の手法8 調理と食事	29	障害別にみた福祉住環境整備3 視覚障害
	12	生活行為別の福祉住環境整備の手法9 団らん	30	障害別にみた福祉住環境整備4 聴覚・言語障害
	13	生活行為別の福祉住環境整備の手法10 就寝	31	障害別にみた福祉住環境整備5 認知・行動障害
	14	高齢者の心理機能と特性いろいろ	32	事例研究1
	15	いろいろな高齢者の住まい	33	事例研究2
	16	自立支援のための住居改善の必要性と支援体制	34	授業のまとめ1
	17	自立支援のための住居改善のポイント	35	授業のまとめ2
	18	高齢者・障害者とバリアフリーデザイン	36	授業のまとめ3

成績割合	テスト	50%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	大学卒業後、建築設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰。 住宅設計に携わりながら、工学系専門学校非常勤講師として設計の手法を指導。また大学の公開講座等で、2級建築士や福祉住環境コーディネーターなど建築系の資格取得支援を行う。教材作成、出版、通信講座の添削等も担当。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	PC基礎		担 当 者 名	千葉 輝子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	Word・Power Point・Excelを実務で役立つ機能を身に付ける				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	前期：Word・PowerPointの基本操作及び効率の良い操作方法を身に付ける 後期：Excelの基本操作及び効率の良い表（計算含む）、グラフの作成方法を身に付ける				
授業概要	・Wordで効率良くビジネス文書を作成できるようになるだけでなく、社会人として恥ずかしくないよう、ビジネス文書及びメールが作成できるようになるスキルを身に付ける ・PowerPointで効率の良いプレゼン資料を作成できるようになるだけでなく、最近よく見られるA4用紙一枚に企画書やチラシを作成するスキルも身に付ける ・Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	科目ガイダンス	19	表作成の基本
	2	文字入力の基本 1	20	ビジネス文書課題（表のあるビジネス文書）
	3	文字入力の基本 2	21	ビジネス文書課題（表のあるビジネス文書）
	4	文字入力の基本 3	22	ビジネス文書課題（表のあるビジネス文書）
	5	ビジネスメールのルール 1	23	Power Pointの基本操作及びスライドの作成方法（アウトライン）
	6	ビジネスメールのルール 2	24	図形の挿入
	7	ビジネスメール課題 1	25	図形の挿入
	8	ビジネスメール課題 2	26	画像の編集および表の挿入
	9	ビジネスメール課題 3	27	Power PointでA4用紙1枚にチラシを作成）
	10	ビジネス文書のルール	28	小テスト（Power Point 総合課題）
	11	ビジネス文書課題（表のないビジネス文書）	29	Excelの基本操作（文字入力/数式入力）
	12	ビジネス文書課題（表のないビジネス文書）	30	表作成課題（四則演算/表の装飾）
	13	ビジネス文書課題（表のないビジネス文書）	31	表作成課題（相対参照と絶対参照）
	14	ビジネス文書課題（表のないビジネス文書）	32	課題(計算、表の装飾、グラフ)
	15	インデント・タブの設定方法	33	表作成課題（COUNT/COUNTA関数）
	16	復習課題	34	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)
	17	前期期末試験（Word課題）	35	後期期末試験（Excel課題）
	18	前期期末試験の解答解説及び後期振り返り	36	後期期末試験の解答解説及び後期振り返り

成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	20%		
	レポート		成績評価	出席率80％以上 S90～100点、A80～89、B70～79点、C60～69点、D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50%　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫50%　G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理（商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など）の実務経験及び、20年以上のIT系インストラクターとして新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	建築設備		担 当 者 名	宮下 紘幸	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	主な住宅設備の仕組みや使い勝手、注意点等の基本を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	生活の基盤である住宅に用いられている、各種住宅設備の知識を学び、建築プランニングに活かせるようにする。				
授業概要	身近な住宅設備の基本的知識を講義により習得する。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	＜電気設備＞役割・関連法規 他	19	＜換気設備＞
	2	1. 受変電設備 他	20	＜給排水・衛生設備＞
	3	2. 照明設備 照明に関する用語	21	1. 給水設備
	4	配光別方式①	22	給水方式・給水圧 他
	5	配光別方式②	23	配管類・ヘッダー工法 他
	6	建築化照明 他	24	2・給湯設備
	7	光源の種類 他	25	給湯方式 他
	8	照明器具の種類	26	3. ガス設備
	9	◇住宅各スペースの計画①	27	＜衛生設備＞
	10	◇住宅各スペースの計画②	28	便器・洗面・浴室①
	11	◇住宅各スペースの計画③	29	便器・洗面・浴室②
	12	◇住宅各スペースの計画④	30	確認テスト・まとめ
	13	◇住宅各スペースの計画⑤	31	
	14	◇照明計算・防災照明 他	32	
	15	3. コンセント設備	33	
	16	＜厨房設備＞概論	34	
	17	◇システムキッチン 建築構造と設備の関係	35	
	18	◇ビルトイン機器と設備	36	

成績割合	テスト	90%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	10%		
	レポート		成績評価	
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫ R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	設計製図2		担 当 者 名	吉澤 千鶴子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	108時間
授業目的	インテリアコーディネーターとして、実務にあたるときに必要な設計図の作成や、プレゼン業務をするために有効なスキルを身に着ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	実務者レベルの、設計図面を理解し、その作成法を取得し、プレゼンテーションができるようにする。				
授業概要	授業は二部構成とする。 「傾斜地に建つ山荘」をテーマにインテリア計画をして、プレゼンする。 「飲食店のユニバーサルデザイン」をテーマにインテリア計画をして、プレゼンする。 最初に設計製図の基本の復習を行う。代表的な作品群の紹介も行う予定。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション（前期の課題を始めるにあたって）	19	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」①
	2	「製図の基本」復習①	20	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」②
	3	「製図の基本」復習②	21	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」③
	4	課題「傾斜地に建つ山荘」①	22	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」④
	5	課題「傾斜地に建つ山荘」②	23	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」⑤
	6	課題「傾斜地に建つ山荘」③	24	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」⑥
	7	課題「傾斜地に建つ山荘」④	25	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」⑦
	8	課題「傾斜地に建つ山荘」⑤	26	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」⑧
	9	課題「傾斜地に建つ山荘」⑥	27	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」⑨
	10	課題「傾斜地に建つ山荘」⑦	28	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」⑩
	11	課題「傾斜地に建つ山荘」⑧	29	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」⑪
	12	課題「傾斜地に建つ山荘」⑨	30	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」⑫
	13	課題「傾斜地に建つ山荘」⑩	31	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」⑬
	14	課題「傾斜地に建つ山荘」⑪	32	課題2「飲食店のユニバーサルデザイン」⑭プレゼンテーション
	15	課題「傾斜地に建つ山荘」⑫	33	作品のまとめ① 手直しなど
	16	課題「傾斜地に建つ山荘」⑬	34	作品のまとめ② ポートフォリオの作成
	17	課題「傾斜地に建つ山荘」⑭プレゼンテーション	35	作品のまとめ③ レポート「私のインテリア」
	18	夏休みの課題	36	作品のまとめ④ レポート「10年後の私」

成績割合	テスト		学習FB方法	
	学習態度・出席率	50%		
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50& R≪実働実践型学習≫50% A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	大学卒業後、建築設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰。 住宅設計に携わりながら、工学系専門学校非常勤講師として設計の手法を指導。また大学の公開講座等で、2級建築士や福祉住環境コーディネーターなど建築系の資格取得支援を行う。教材作成、出版、通信講座の添削等も担当。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	空間デザイン2		担 当 者 名	花崎 匠	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	108時間
授業目的	空間デザインのプロセスと技術を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	課題を通して空間デザインのプロセスと技術を習得する。 住空間と店舗空間の違いを理解する。				
授業概要	前期、後期各一課題の制作とプレゼンテーションを行う。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	課題:私の家 課題説明	19	課題:物販店舗 リサーチ課題(作成・発表)
	2	課題:私の家 リサーチ課題(作成・発表)	20	課題:物販店舗 設定とコンセプト(検討・提出)
	3	課題:私の家 設定とコンセプト(検討・発表)	21	課題:物販店舗 平面計画
	4	課題:私の家 平面および断面エスキース	22	課題:物販店舗 平面計画提出
	5	課題:私の家 平面および断面エスキースの提出	23	課題:物販店舗 エレメント計画(家具・照明・設備・素材と色彩)
	6	課題:私の家 エレメント計画(家具・照明・設備・素材と色彩)	24	課題:物販店舗 エレメント計画提出
	7	課題:私の家 エレメント計画提出	25	課題:物販店舗 平面図作成
	8	課題:私の家 配置図兼平面図作成	26	課題:物販店舗 平面図提出
	9	課題:私の家 配置図兼平面図提出	27	課題:物販店舗 パースまたは模型作成
	10	課題:私の家 断面図作成	28	課題:物販店舗 パースまたは模型作成
	11	課題:私の家 断面図提出	29	課題:物販店舗 パース出力または模型撮影
	12	課題:私の家 模型作成	30	課題:物販店舗 プレゼンテーションボード作成
	13	課題:私の家 模型作成	31	課題:物販店舗 プレゼンテーションボード提出
	14	課題:私の家 模型撮影	32	課題:物販店舗 プレゼンテーション
	15	課題:私の家 プレゼンテーションボード作成	33	
	16	課題:私の家 プレゼンテーションボード提出	34	
	17	課題:私の家 プレゼンテーション	35	
	18	課題:物販店舗 課題説明	36	

成績割合	テスト	60%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	40%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S:90～100点、A:80～89点、B:70～79点、C:60～69点、D:59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	建築設計・インテリアデザイン・サインデザイン・グラフィックデザイン事務所代表。専門学校非常勤講師歴26年。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	プレゼンテーション演習		担 当 者 名	花崎 匠	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	プレゼンテーション技術を学ぶ。 各自のポートフォリオを制作する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	グラフィックアプリケーションの基本操作を習得する。				
授業概要	Adobe IllustratorとPhotoshopを使用してプレゼンテーションボードとポートフォリオの制作を行う。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	
	2	文字とレイアウト/イラストレーターの基本操作	20	
	3	文字とレイアウト/グリッドと文字組	21	
	4	図面、パースのエクスポートとインポート	22	
	5	模型写真撮影	23	
	6	フォトショップの基本操作	24	
	7	ボード制作課題(素材の準備)	25	
	8	ボード制作課題(エレメントの選択)	26	
	9	ボード制作課題(レイアウト)	27	
	10	ボード制作課題(チェックと修正)	28	
	11	ボードプレゼンテーション	29	
	12	ポートフォリオ制作(素材の準備)	30	
	13	ポートフォリオ制作(フォーマットの作成)	31	
	14	ポートフォリオ制作(レイアウト)	32	
	15	ポートフォリオ制作(中間チェック)	33	
	16	ポートフォリオ制作(修正)	34	
	17	ポートフォリオプレゼンテーション	35	
	18	まとめ	36	

成績割合	テスト	60%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	40%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S:90～100点、A:80～89点、B:70～79点、C:60～69点、D:59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	建築設計・インテリアデザイン・サインデザイン・グラフィックデザイン事務所代表。専門学校非常勤講師歴26年			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	インテリアコーディネーター演習2		担 当 者 名	竹内 美知子	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	108時間
授業目的	前期:照明の基本的な用語や基礎知識を学ぶ。 後期:インテリアコーディネーター資格取得を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	的確な照明プランの提案ができるようにする。 IC資格取得を目指す。				
授業概要	クライアントの要求に応じた照明プランを作成し、理解しやすいビジュアルな手法でボードを作成する。 IC資格取得のため、小テスト・過去問演習により、知識の確認を行う。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	＜課題＞ 店舗計画
	2	＜照明＞1. 照明に関する用語	20	※物品販売店の基本
	3	2. 配光別方式 他	21	1. 各業態の商圏とについて
	4	3. 光源の種類	22	2. 消費者意識と設計アプローチ
	5	4. 照度計算について	23	3. 売り場づくりの基本と構成 他
	6	5. 住宅の照明計画	24	※ 課題店舗のセレクト
	7	各室の照明プランについて ①	25	1.コンセプトの構築
	8	各室の照明プランについて ②	26	2. 空間プラン及びゾーニング ①
	9	各室の照明プランについて ③	27	空間プラン及びゾーニング ②
	10	6. LED光源の仕組みと種類	28	3. 各エレメント選択
	11	7. 住宅のコンセント他、配線図	29	4. 平面図・パース作成
	12	＜課題＞ 戸建住宅の照明計画 課題説明	30	5. 模型製作 ①
	13	1. クライアント設定 （住宅のトータルイメージを決める）	31	模型製作 ②
	14	2. コンセプト作成	32	模型製作 ③
	15	3. エレメント選択	33	模型製作 ④
	16	4. ボード作成	34	6. ボード作成
	17	前期期末試験	35	7. プレゼンテーション
	18	解答・解説 まとめ	36	まとめ

成績割合	テスト	70%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	課題提出20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	長年インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	卒業制作		担 当 者 名	成田 健志、花崎 匠	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開 講 期 必 ・ 選	後期 必選	授 業 時 間 数	108時間
授業目的	インテリアの知識や考え方をもとに、生活や環境に対しての提案と設計計画をおこなう。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各自が調べ、決定した研究テーマから、その問題解決のための方法としてのデザインとプレゼンテーションのための制作をおこなう。				
授業概要	地球上の建築・都市空間は「人間の暮らし」の中から生まれる。制作の研究テーマは、「本当に必要なもの」とは何か？という検討から始まる。国や文化の違い、気候・風土の違いからわかること、過去に遡ることで見えてくる未来の姿などを参考にしながら、新たな「建築・インテリア・環境デザイン」を計画・提案し、模型およびプレゼンテーションボードの制作をおこなう。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	
	2	オリエンテーション	20	
	3	オリエンテーション	21	
	4	研究、調査、計画について(問題の定義、情報収集)	22	
	5	プロジェクト・エスキス	23	
	6	敷地設定、スケッチ	24	
	7	イメージボード、コンセプトボード	25	
	8	イメージボード、コンセプトボード(中間発表)	26	
	9	作図、模型	27	
	10	作図、模型(中間発表)	28	
	11	制作(コンセプト・表現方法の検討)	29	
	12	制作(イメージボード・レイアウト)	30	
	13	プレゼンテーションボード(イラストレーター等)	31	
	14	プレゼンテーションボード・模型制作	32	
	15	プレゼンテーションボード・模型制作(中間発表)	33	
	16	プレゼンテーションボード・模型制作	34	
	17	プレゼンテーションボード・模型制作	35	
	18	プレゼンテーションボード・模型制作・発表	36	

成績割合	テスト	60(作品評価)	学習FB方法	
	学習態度・出席率	40%		
	レポート		成績評価	
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫60　R≪実働実践型学習≫20　A≪主体的参加型学習≫20　G≪海外体感型学習≫
講師プロフィール	生活の中の美術としての建築やインテリア(空間のデザイン)を考えながら、設計・デザインの仕事をしています。(成田) 美術専門学校講師の傍ら建築設計(一級建築士事務所は現在閉所)・インテリアデザイン・サインデザイン・グラフィックデザイン事務所を自営しています。(花崎)

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	色彩学2		担 当 者 名	岩崎 沙織	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	色彩検定2級の合格。色彩知識の応用として実習課題を行い、色彩感覚を養う。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	色彩検定2級のテキストで、色彩の各分野の知識を深め、検定合格を目指します。また、実習課題を通して、学んだことを応用したり表現する力を養います。				
授業概要	色彩検定2級対策の授業を座学で行ないます。過去問演習を繰り返し行い、実力と自信を付けられるよう導きます。検定試験後は実習課題を中心に行い、実践を通して色彩感覚を身につけます。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	授業スケジュールと検定試験について・復習	19	
	2	色のユニバーサルデザイン・光と色	20	
	3	マンセル表色系・色彩心理	21	
	4	色彩調和・配色イメージ・ビジュアル	22	
	5	ファッション・インテリア・景観色彩・慣用色名	23	
	6	まとめ	24	
	7	過去問テスト 1	25	
	8	過去問テスト 2	26	
	9	過去問テスト 3	27	
	10	検定試験2級 解説	28	
	11	実習課題 1 ビジュアル	29	
	12	実習課題 2 ファッション	30	
	13	実習課題 3 インテリア	31	
	14	実習課題 4 色彩心理	32	
	15	期末テスト	33	
	16	実習課題 5 配色イメージ	34	
	17	実習課題 講評	35	
	18	まとめ	36	

成績割合	テスト	60%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	20%		
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫60% A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体感型学習≫30%			
講師プロフィール	色彩講師歴10年。広告会社勤務やアパレル販売の経験を活かして、より実践的な色彩の学びを提供しています。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	デザインワーク2		担 当 者 名	宗像 重幸	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	○デザインした作品を実際に制作し使用することによって、掲げたテーマやコンセプトを体感し確認する。 ○スケッチから完成までのデザインワーク一連を体験する。 ○造形と構造、素材の関係性の考察。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	○基本的な三面図の理解と描き方の習得 ○素材の特性の理解 ○問題点の発見と解決能力を養う				
授業概要	「たためるかたち」「卒業制作に関連したアイテム」のどちらかを選択し取り組む。尚その両方に当てはまる内容も可とする。 どちらも前期授業ではリサーチやプランニング、図面やモデルの制作を行い前期最終日にはプレゼンテーションを行う。原寸図面とモデルは提出。後期授業にて制作する。「たためるかたち」フォールディングチェアや折りたたみ式のテーブルなど、たためる家具をデザインし制作する。○フォールディングの機構を持つアイテムの調査を行い、デザインと制作をしていく作品の方向性を模索する。○テーマやコンセプトを元にスケッチ、モデル、図面を繰り返し、アイデアを詰めていき最終プランを決定する。「卒業制作に関連したアイテム」卒業制作の内容と関連付けたアイテムをデザインする。(例:リビングダイニングの設計→ダイニングテーブルやチェア。カフェの設計→カフェテーブルやチェア、レジカウンター。図書館の提案→ベンチなどのエントランスファニチャー。など)○卒業制作の内容をより明確にする。○テーマやコンセプトを元にスケッチ、モデル、図面を繰り返し、アイデアを詰めていき最終プランを決定する。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	
	2	オリエンテーション リサーチ　アイデアスケッチ	20	
	3	リサーチ アイデアスケッチ	21	
	4	リサーチ アイデアスケッチ　モデル作成	22	
	5	リサーチ アイデアスケッチ　モデル作成	23	
	6	リサーチ アイデアスケッチ　モデル作成	24	
	7	リサーチ アイデアスケッチ　モデル作成	25	
	8	アイデアスケッチ モデル作成	26	
	9	アイデアスケッチ モデル作成	27	
	10	アイデアスケッチ モデル作成　原寸図作成	28	
	11	アイデアスケッチ モデル作成　原寸図作成	29	
	12	モデル作成 原寸図作成	30	
	13	モデル作成 原寸図作成	31	
	14	モデル作成 原寸図作成	32	
	15	プレゼンテーション	33	
	16	まとめ	34	
	17	まとめ	35	
	18	まとめ	36	

成績割合	テスト	%	学習FB方法	
	学習態度・出席率	40%		
	レポート	60%	成績評価	
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30　R≪実働実践型学習≫30　A≪主体的参加型学習≫40　G≪海外体感型学習≫0
講師プロフィール	木工工房主宰。注文家具制作を中心に作家活動。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	積算概論		担 当 者 名	髙井 英光	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	建築およびインテリア業界おける積算業務の考え方を学ぶ。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	建築数量積算基準にもとづく土工、躯体、仕上げの数量を、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造の設計例を用いて学ぶ。				
授業概要	「積算概論」では、工事費の構成、積算に必要な用語、数量積算の計算の仕方や資料の収集分析の基礎的な手法を習得し、建築生産における計画、設計、施工の各過程での費用予測・分析法を学ぶ。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	
	2	積算の目的、積算と見積	20	
	3	積算業務の分類、積算の種類	21	
	4	積算の作業工程、積算の要点	22	
	5	建築数量、単位の原則	23	
	6	部分別積算1　土工事、地業工事	24	
	7	部分別積算2　基礎のコンクリート工事	25	
	8	部分別積算3　基礎の型枠	26	
	9	部分別積算4　平屋建てのコンクリート量	27	
	10	部分別積算5　平屋建ての型枠量	28	
	11	部分別積算6　基礎の鉄筋量	29	
	12	部分別積算7　はりの鉄筋量	30	
	13	部分別積算8　柱の鉄筋量	31	
	14	部分別積算9　壁の積算	32	
	15	部分別積算10　スラブの積算	33	
	16	総合計算1	34	
	17	総合計算2	35	
	18	確認テスト・まとめ	36	

成績割合	テスト	30%	学習FB方法	単元ごとの小テスト 前期試験
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上S：90～100点、A：80～89、B：70～79点、C：60～69点、D：59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫40%　R≪実働実践型学習≫40%　A≪主体的参加型学習≫20%　G≪海外体感型学習≫0%			
講師プロフィール	一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院　博士課程終了 全日本建築士会　1級建築士講座講師			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	リノベーション概論		担 当 者 名	砂子 政仁	
学 科	インテリアデザイン科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	後期 必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	現代社会におけるリフォームの必要性について学ぶ。				
授業目標 （ラーニングアウトカムズ）	現代社会に欠けている共用のパブリックスペースやバリアフリースペースについて、実測並びにアセスメントを行い、リフォームプラン（模型含む）提案していく。				
授業概要	本年は課題数2～3を予定。 課題1、A・Bの2グループに分け、これからのパブリックトイレを提案する。 課題2、片麻痺の人物を想定し、快適に暮らせるバリアフリーリフォームを提案する。 課題3、自宅の使いにくい部分を検証し、快適に暮らせるリフォームを提案する。 各々の課題のプレゼンテーションの実施。				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	ガイダンス、建築のこころのはなし、着色のルール説明、課題1概略説明、　即日課題（残り宿題）。	19	
2	課題1、実測及びグループごとのアセスメント、作業ワークスタート。	20	
3	作業ワーク	21	
4	作業ワーク	22	
5	作業ワーク	23	
6	作業ワーク	24	
7	作業ワーク	25	
8	作業ワーク（模型を含めパネルを完成させる）	26	
9	提出日、A・Bグループによるプレゼンテーション。	27	
10	課題2、概要説明（個人課題）、作業ワークスタート。	28	
11	作業ワーク	29	
12	作業ワーク	30	
13	作業ワーク	31	
14	課題2、提出日、完成プレゼンテーション。	32	
15	課題3、概要説明（個人課題）作業ワークスタート。	33	
16	作業ワーク	34	
17	作業ワーク	35	
18	課題3、提出日、完成プレゼンテーション。	36	

成績割合	テスト		学習FB方法	
	学習態度・出席率	10%		
	レポート		成績評価	出席率80％以上、課題提出率100％、S 90～100点、A 80～89点、B 79～70点、C 60～69点、D 59点不可
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	一級建築士、介護福祉士として設計事務所を主宰する傍ら、専門学校や建築士予備校及び介護現場等で活動する。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅰ		担 当 者 名	キャリアセンター　佐藤・沼田	
学　科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 1年生	開 講 期 必・選	通年 必修選択	授 業 時 間 数	36コマ
授業目的	卒後VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 （ラーニングアウトカムズ）	ビジネススキル（働くうえで必要な能力・技術）を修得し、卒後Visionを叶えるための内定を得る。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション
	2	キャリアについて考えるⅠ	20	卒後visionを磨く
	3	キャリアについて考えるⅡ	21	就活の軸を考える
	4	社会探究の重要性について考える	22	社会人としての心構え
	5	自己探究Ⅰ	23	SDGsとこれからの働き方について考える
	6	自己探究Ⅱ	24	就職活動について考える
	7	グローバルとキャリアについてⅠ	25	就活と生成AIツールの活用についてⅠ
	8	グローバルとキャリアについてⅡ	26	就活と生成AIツールの活用についてⅡ
	9	インターンシップについて考えるⅠ	27	特別講座に向けて準備
	10	インターンシップについて考えるⅡ	28	履歴書の書き方について
	11	WEBテスト(自己探究)	29	社会人マナー復習
	12	卒後Visionを振り返る	30	自己プロデュースをやってみよう
	13	インターンシップ準備	31	プレゼンテーションをやってみよう
	14	特別講座と社会探究について	32	グループディスカッション練習
	15	インターンシップ振り返り	33	グループ面接練習
	16	グループディスカッション練習	34	卒後VISIONの確認
	17	自己目標の振り返り	35	自己目標の振り返り
	18	上期の振り返り・下期目標設定	36	下期・1年の振り返り

成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	確認テスト（Forms）	30%		
			成績評価	S90～100点　A80～89　B70～79点 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	■P≪課題解決型学習≫　40 %　■R≪実働実践型学習≫　20 %　■A≪主体的参加型学習≫　30%　■G≪海外体感型学習≫　10 %			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅰ		担 当 者 名	キャリアセンター　宮鍋・井上	
学　科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 1年生	開 講 期 必・選	通年 必修選択	授 業 時 間 数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを描く(磨く)ための知識の醸成と経験の蓄積				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ありたい姿の確立と達成するための経験・スキルを身に着ける				
授業概要	インターンシップなど社会探究に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、 体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション①	19	オリエンテーション②
	2	自分の理想の人生を考える①	20	学生と社会人の違い
	3	自分の理想の人生を考える②	21	学び探究の重要性①
	4	自己探究の重要性①	22	学び探究の重要性②
	5	自己探究の重要性②	23	テクノス祭の活用①
	6	社会探究の重要性①	24	テクノス祭の活用②
	7	社会探究の重要性②	25	大学コースの価値②
	8	グローバルな働き方①	26	インターン対策③
	9	グローバルな働き方②	27	インターン対策④
	10	大学コースの価値①	28	テーマ別グループワーク①
	11	WEBテスト	29	テーマ別グループワーク②
	12	インターン対策①	30	テーマ別グループワーク③
	13	インターン対策②	31	テーマ別グループワーク④
	14	卒後ビジョンとキャリア(就職)①	32	テーマ別グループワーク⑤
	15	卒後ビジョンとキャリア(就職)②	33	卒後VISIONブラッシュアップ②
	16	卒後VISIONブラッシュアップ①	34	下期・1年の振り返り
	17	上期の振り返り・下期目標設定	35	具現抽象トレーニング②
	18	具現抽象トレーニング①	36	具現抽象トレーニング③

成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	アンケート、面接練習、 履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)	30%		
			成績評価	S90～100点　A80～89　B70～79 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	■P≪課題解決型学習≫　40 %　■R≪実働実践型学習≫　20 %　■A≪主体的参加型学習≫　30%　■G≪海外体感型学習≫　10 %			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	一般常識Ⅰ		担 当 者 名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	″数学　高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要を思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語　コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会　社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。″				
授業概要	″数学　必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語　漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会　日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。″				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	「数学」オリエンテーション一般常識「国語」「社会」オリエンテーション	19	速さの文章問題(2)日本文学
	2	数の計算漢字一字の読み	20	規則性などの文章問題(1)世界文学
	3	式の計算二字熟語の読み	21	規則性などの文章問題(2)国語　成績判定試験(2)
	4	数と量の文章問題(1)慣用語の読み	22	場合の数(1)民主主義
	5	因数分解(1)常用漢字外の読み	23	場合の数(2)日本国憲法
	6	因数分解(2)漢字一字の書き取り	24	確率(1)国際社会
	7	約数と倍数二字熟語の書き取り	25	確率(2)資本主義経済・企業
	8	平方根の計算(1)同訓異字の書き取り	26	数学　後期成績判定テスト(1)国民経済・日本の経済
	9	平方根の計算(2)同音異義語の書き取り(1)	27	数と式の計算　復習テスト貨幣・金融・財政
	10	数学　前期成績判定テスト(1)同音異義語の書き取り(2)	28	方程式と不等式　復習テスト(1)社会　成績判定試験(1)
	11	1次方程式、連立方程式国語　成績判定試験(1)	29	方程式と不等式　復習テスト(2)日本史(1)
	12	2次方程式対義語・類義語の書き取り	30	総合文章題　復習テスト(1)日本史(2)
	13	不等式似形異字の書き取り	31	総合文章題　復習テスト(2)世界史
	14	数と量の文章問題(2)書き誤りやすい漢字	32	関数とグラフ　復習テスト日本地理
	15	割合の文章問題(1)同字異音・同字異訓の読み書き	33	場合の数と確率(1)世界地理
	16	割合の文章問題(2)四字熟語の読み書きと意味	34	場合の数と確率(2)思想・社会・文化
	17	数学　前期成績判定テスト(2)故事成語・諺・慣用句・金言の完成と意味	35	数学　後期成績判定テスト(2)社会　成績判定試験(2)
	18	速さの文章問題(1)語句の読みと意味	36	まとめ

成績割合	テスト	″数学 80%　国語・社会 80%″	学習FB方法	″数学　前期・後期　成績表送付 国語・社会　前期・後期　成績表送付″
	学習態度・出席率	″数学 10%　国語・社会 10%″		
	レポート	確認テスト数学 10%　国語・社会 10%″	成績評価	S:90-100,　A:80-89,　B:70-79,　C:60-69　,D:0-59
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドヴァイザリー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援　総合Ⅰ		担 当 者 名	楳村 麻里子	
学　科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目（全7科目）の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、リポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「社会人の常識とマナー」「コミュニケーション論」「ビジネス文書＆メールの書き方」「情報分析力を鍛える」「考える力をつける」「企画力を強化する」「自由が丘とブランディング」				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション①産業能率大学通信制とリポート＆試験	19	情報分析力を鍛える①
	2	オリエンターション②リポート作成のポイント①	20	情報分析力を鍛える②
	3	オリエンテーション③年間の取組計画	21	情報分析力を鍛える③
	4	ビジネス文書＆メールの書き方①	22	考える力をつける①
	5	ビジネス文書＆メールの書き方②	23	考える力をつける②
	6	ビジネス文書＆メールの書き方③	24	考える力をつける③
	7	社会人の常識とマナー①	25	企画力を強化する①
	8	社会人の常識とマナー②	26	企画力を強化する②
	9	社会人の常識とマナー③	27	企画力を強化する③
	10	コミュニケーション論①	28	自由が丘とブランディング①
	11	コミュニケーション論②	29	自由が丘とブランディング②
	12	コミュニケーション論③	30	自由が丘とブランディング③
	13	評論読解と要約のポイント①	31	リポート作成のポイント③
	14	評論読解と要約のポイント②	32	評論読解と要約のポイント③
	15	リポート作成のポイント②	33	論理と文章構成②
	16	論理と文章構成①	34	後期内容振返り
	17	前期内容振返り	35	年間内容振返り
	18	後期リポート作成計画	36	まとめ

成績割合	テスト	なし	学習FB方法	前期後期成績発表
	学習態度・出席率	50%		
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100　A80～89　B70～79 C60～69 D59以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫25%　R≪実働実践型学習≫25%　A≪主体的参加型学習≫25%　G≪海外体感型学習≫25%			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援　総合Ⅰ		担 当 者 名	吉田 緑	
学　科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	本科目は中央大学法学部通信教育課程の編入を目指す学生等に課せられたレポート課題対策および法律学習の支援を目的とする。対象科目は憲法、民法（債権総論、債権各論）、刑法（総論、各論）である。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	①レポートを提出し、実際に合格させること ②法律学習に限らず「自分のことば」を用いて文章で説明できるようにすること を目標とする。				
授業概要	①法律を学ぶにあたって必要な思考方法、②教科書を含む文献や裁判例の読み方、③リサーチ方法、④レポートを書く際の作法、⑤レポートの題意の読み解き方等を学ぶ。 スクーリングや試験に合わせて授業内容が変わる場合もある。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	刑法（各論）：第2課題
	2	オリエンテーション	20	刑法（各論）：第2課題
	3	法律学習の基礎：①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	21	民法（債権総論）：第1課題
	4	法律学習の基礎：①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	22	民法（債権総論）：第1課題
	5	レポートの書き方①	23	民法（債権総論）：第2課題
	6	レポートの書き方②	24	民法（債権総論）：第2課題
	7	課題の題意把握	25	民法（債権各論）：第1課題
	8	課題の題意把握	26	民法（債権各論）：第1課題
	9	憲法：第1課題	27	民法（債権各論）：第2課題
	10	憲法：第1課題	28	民法（債権各論）：第2課題
	11	憲法：第2課題	29	憲法（残りの課題）
	12	憲法：第2課題	30	刑法（残りの課題）
	13	刑法（総論）：第1課題	31	刑法（残りの課題）
	14	刑法（総論）：第1課題	32	民法（残りの課題）
	15	刑法（総論）：第2課題	33	民法（残りの課題）
	16	刑法（総論）：第2課題	34	結果報告
	17	刑法（各論）：第1課題	35	まとめ
	18	刑法（各論）：第1課題	36	まとめ

成績割合	テスト	0%	学習FB方法	随時指導する。前期・後期成績表送付。
	学習態度・出席率	80%		
	レポート	20%	成績評価	出席率80％以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点、C60～69点、D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100%　R≪実働実践型学習≫10%　A≪主体的参加型学習≫60%　G≪海外体感型学習≫0%			
講師プロフィール	他大学他学部より中央大学法学部通信教育課程に2年次編入し、同課程卒業。中央大学通信教育部インストラクター。専門は刑事政策・犯罪学。他専門学校・大学等でも講師（憲法、刑事政策、犯罪学等）を務める。元インターネットニュースメディア記者でフリーランスライターでもある。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援　総合Ⅰ	担 当 者 名	高木 佳子、原 祥
学　科		授業方法	講義
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	 選択
授 業 時 間 数	72時間		
授業目的	日大英文科で二年次に修得すべき科目である、アメリカ文学史とイギリス文学史（18世紀以降）の知識の習得と理解を目指す。		
授業目標 （ラーニングアウトカムズ）	具体的には以下の科目の単位取得を目指す。 ・イギリス文学史Ⅱ（4単位） ・アメリカ文学史（4単位）		
授業概要	基本的には毎回配布するプリントを用いて授業を行う。ただし指定教科書である『イギリス文学史Ⅱ』（日本大学通信教育学部）、『アメリカ小説入門』（研究社）に加え、適宜副次資料を配り、理解の助けとする。 また、同時進行で言及した作家の短編作を読み、内容理解と英文読解にも努める。		

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	スケジュール説明：レポート期限、テスト期限 ・イギリス文学史（ロマン主義）：歴史的概要1（清教徒革命の影響）	19	論文を読む。Theme，先行研究、Thesis statementに着目する。 （『緋文字』）
2	・イギリス文学史（ロマン主義）：歴史的概要2（フランス革命の影響） ・トリコロール（自由・平等・博愛）	20	アメリカ文学史⑤～⑧までの小テスト
3	・イギリス文学史①（ロマン主義・詩）ワーズワース、コールリッジ	21	アメリカ文学史⑨　ポストモダンの時代　ⅰ ヘンリー・ミラー、サリンジャー、ビートジェネレーション、アーサー・ミラーなど
4	・イギリス文学史②（ロマン主義・詩）バイロン、シェリ、キーツ	22	アメリカ文学史⑩　ポストモダンの時代ⅱ カポーティ、テネシーウィリアムズ、ヴォネガット、アップダイク、アーヴィングなど
5	イギリス文学史③（ロマン主義・小説）スコット、オースティン アメリカ文学史：歴史的概要	23	アメリカ文学史⑪　マイノリティ文学、公民権運動 ボールドウィン、アリス・ウォーカー、トニ・モリスン、ナボコフ、ピンチョンなど
6	アメリカ文学史①　植民地時代　（ピューリタニズム） アン・ブラッドストリート、エドワーズ、ベンジャミン・フランクリンなど。	24	アメリカ文学史⑨～⑪までの小テスト
7	アメリカ文学史②　独立期から西漸運動　（ロマン主義の時代ⅰ） ブラウン、アービング、クーパー、エドガー・アラン・ポーなど。	25	イギリス文学史④　ヴィクトリア朝時代ⅰ…ディケンズ、サッカレー、ブロンテ姉妹
8	アメリカ文学史③　独立期から南北戦争まで　（ロマン主義時代ⅱ） エマソン、メルヴィル、ホーソン、ホイットマン、ディッキンソンなど	26	イギリス文学史⑤　ヴィクトリア時代ⅱ…エリオット、メレディス、ギャスケルら
9	アメリカ文学史④　南北戦争から第一次大戦まで。（リアリズム小説） オールコット、マークトゥエイン、ハウエルズ、ジェイムズなど	27	イギリス文学史⑥　ヴィクトリア時代ⅲ…テニスン、ブラウニングなど詩人連
10	書籍資料を参考にして、Adventures of Huckleberry Finn の特徴（文体・内容・時代背景）を考えてみる。	28	イギリス文学史⑦　第一次世界大戦とその周辺ⅰ…ハーディ、ヘンリージェイムズ、コンラッド、キプリングなど多数
11	イギリス文学史①～③ アメリカ文学史①～④までの小テスト	29	イギリス文学史⑧　第一次世界大戦とその周辺ⅱ…作家：H.Gウェルズ、スティーブンソン、コナン・ドイル。詩人：ホプキンス、イェイツ
12	アメリカ文学史⑤　第一次大戦と海外膨張政策　（自然主義小説） ノリス、クレイン、ドライサー、ジャック・ロンドンなど	30	イギリス文学史⑨　第一次世界大戦とその周辺ⅲ…小説家：オスカー・ワイルド、モーム、フォスター。劇作家：バーナード・ショウなど
13	ジャック・ロンドンTo Build a Fireの読解	31	イギリス文学史⑪　第二次世界大戦とその周辺…戦争と歴史。作家：ヴァージニア・ウルフ、ジェイムズ・ジョイスなど
14	アメリカ文学史⑥　モダニズムの時代…狂騒の20年代ⅰ キャザー、エズラ・パウンド、ウィリアム・ウィリアムズ、ヘミングウェイなど。	32	イギリス文学史⑫　第二次世界大戦から現代まで…「ゆりかごから墓場まで」 作家：ロレンス、オーウェル、グリーン、ゴールディングなど
15	アメリカ文学史⑦　モダニズムの時代…狂騒の20年代ⅱ フォークナー、フロスト、バーンズ、ハーストン、ラングストン・ヒューズなど。	33	文学研究の「テーマ」について① "人種（Race）"
16	アメリカ文学史⑧　モダニズムの時代…ジャズ・エイジⅲ フィッツジェラルド、ハメット、スタインベック、リチャード・ライトなど。	34	文学研究の「テーマ」について② "社会階級（Social Class）"
17	論文を読む。Theme，先行研究、Thesis statementに着目する。 （『ハックルベリーフィンの冒険』）	35	文学研究の「テーマ」について③ "性差（Gender）"
18	論文を読む。Theme，先行研究、Thesis statementに着目する。 （『ロミオとジュリエット』）	36	文学研究の「テーマ」について④ "セクシュアリティ(Sexuality)"

成績割合	テスト	単位認定試験を期末試験の代わりとする。	学習FB方法	レポート課題添削、日大からのレポート課題講評、試験結果等
	学習態度・出席率	50パーセント		
	レポート	50パーセント	成績評価	科目習得試験取り組み状況、学習態度・出席状況
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30　R≪実働実践型学習≫10　A≪主体的参加型学習≫30　G≪海外体感型学習≫30			
講師プロフィール	東京学芸大学・教育学研究科英語教育（英米文学）課程の修士号を取得。 都立の定時制高校ほかで英語講師を14年務めてきた。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	英語基礎Ⅰ		担 当 者 名	鈴木 良	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	大学コース日大国文学専攻の学生が、卒業に必要な英語科目8単位のうち、2単位を修得できる英語力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 日大通信教育「英語基礎」2単位のレポート課題に合格する。 2. 日大通信教育「英語基礎」2単位の科目修得試験に合格する。				
授業概要	教科書の理解、小テスト、定期試験、レポート課題作成、科目修得試験対策				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	Unit 1	19	Unit 8
	2	Unit 1	20	Unit 8
	3	Unit 1	21	Unit 8 小テスト、Unit 10
	4	Unit 1	22	Unit 10
	5	Unit 1	23	Unit 10
	6	Unit 4	24	Unit 10
	7	Unit 4	25	Unit 10 小テスト、Unit 12
	8	Unit 1 小テスト、Unit 4	26	Unit 12
	9	Unit 4	27	Unit 12
	10	Unit 4	28	Unit 12
	11	Unit 4 小テスト、Unit 6	29	Unit 12 小テスト、Unit 13
	12	Unit 6、レポート作成	30	Unit 13
	13	Unit 6、レポート作成	31	Unit 13
	14	Unit 6、レポート作成	32	Unit 13
	15	Unit 6	33	Unit 13 小テスト
	16	前期期末試験	34	まとめ
	17	Unit 8	35	後期期末試験
	18	Unit 8	36	試験返却

成績割合	テスト	45%	学習FB方法	口頭
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	25%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫60%　R≪実働実践型学習≫0%　A≪主体的参加型学習≫60%　G≪海外体感型学習≫100%
講師プロフィール	英文学、英語学を専門とし、日大通信教育部にて中学校、高等学校教員免許(英語)を取得

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援　総合Ⅰ		担 当 者 名	高木 佳子	
学　科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	国文学の専門知識の習得とともに、各科目の単位修得におけるリポート作成の技術の習得も目指していく。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	古代から近代に至る日本文学の各ジャンルにおける専門的知識と課題を把握し、日本大学の各科目試験の単位修得に必要な知識を身につけていく。				
授業概要	日本大学における「国文学基礎講義」、「国文学概論」、「国文学講義(上代)」の3教科の単位修得に必要な、各科目ごとの2つのリポート提出について、提出期限を把握し、科目修得試験に向けて、計画的に進めていく。				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	授業オリエンテーション 1年次履修科目について	19	連歌の形式
2	授業オリエンテーション 履修科目のリポート課題提出について	20	俳諧の歴史
3	授業オリエンテーション 履修科目の試験、および過去問について	21	芭蕉の文学
4	国文学科目概要・講義概説	22	謡曲の種類
5	「国文学基礎講義」リポート課題概説　リポート作成に向けて	23	「国文学講義」Ⅰ(上代)　課題1　リポート作成に向けて
6	『日本古典文学』 第1章　古代(一記紀と風土記を読む	24	『国文学講義』1(上代)　レポート課題1の作成に向けての、『万葉集』「宴席歌について。
7	「国文学基礎講義」課題1　リポート作成	25	「国文学講義」Ⅰ(上代)　課題1　リポート作成　テキスト以外の『万葉集』の「宴席歌」の選定
8	『日本古典文学』 第7章　近世(一近松と西鶴の文学を読む	26	『万葉集』の「宴席歌」について
9	「国文学基礎講義」課題2　リポート作成に向けて	27	「国文学講義」Ⅰ(上代)　課題2　リポート作成に向けて
10	「国文学基礎講義」課題2　リポート作成	28	『万葉集』「宴席歌」から　田辺福麻呂の歌　巻18(4032～4035)
11	「国文学概論」　リポート作成に向けて	29	『万葉集』「宴席歌」から　橘諸兄の歌　巻17(3926左)
12	『国文学概論』(第二分冊)　物語文学	30	『万葉集』「宴席歌」　藤原朝臣仲麻呂の歌から　巻20(4242・4487)
13	「国文学概論」課題1　リポート作成	31	『万葉集』「宴席歌」から　巻17(3943～3955)の宴席歌群について
14	『国文学概論』(第四分冊)　近代文学	32	『万葉集』「宴席歌」から　大伴坂上郎女の歌　巻4(585・651・652)
15	「国文学概論」課題2　リポート作成	33	『万葉集』の宴席を考える―梅花の宴を通して
16	『古今和歌集』 国風暗黒時代・「真名序」・「二聖」・「六歌仙」	34	『国文学講義』1(上代)　レポート課題の作成・提出に向けて
17	鴨長明と兼好　『方丈記』・『徒然草』	35	授業まとめ／振り返り
18	『新古今和歌集』 後鳥羽院と藤原定家・『新古今和歌集』の編纂・新古今歌風	36	授業まとめ／振り返り

成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期　答案返却
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点、C60～69点、D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30%　R≪実働実践型学習≫30%　A≪主体的参加型学習≫30%　G≪海外体感型学習≫10%			
講師プロフィール	元昭和女子大学准教授(日本古典文学　和歌文学)			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担 当 者 名	担任	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 2年生	開 講 期 必・選	通年 必修選択	授 業 時 間 数	36コマ
授業目的	卒後VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒後Visionを叶えるための知識・経験を積む。				
授業概要	社会生活に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイやフィールドワークなどを通じ、体得する。				

授業計画表		授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション・就活状況の確認		19	後期の講義内容に関して＆個人面談
	2	内定後の過ごし方＆個人面談①		20	挨拶・マナー①報連相・PDCAサイクル
	3	一般常識ワーク＆個人面談②		21	一般常識ワーク＆個人面談①
	4	ビジネス書読書＆個人面談③		22	一般常識ワーク＆個人面談②
	5	【自習】目指す業界の未来を考える＆個別面談		23	ビジネス書読書＆個人面談③
	6	【自習】企業研究(国内外)＆個人面談		24	トークセッション(OBOGを招いて:社会人予備軍対象)
	7	目指す業界の未来を発表する		25	前期で上がった課題に関するワーク
	8	【自習】第二志望の業界を調べる＆個人面談		26	就職後の目標設定①
	9	【自習】夢の根っこの共通職種・業界を考える＆個人面談		27	就職後の目標設定②
	10	社会人基礎力①前に踏み出す力(グループワーク)＆個人面談		28	コミュニケーションスキル①聴く力
	11	社会人基礎力②考え抜く力(グループワーク)＆個人面談		29	コミュニケーションスキル②理解する力
	12	社会人基礎力③チームで働く力(グループワーク)＆個人面談		30	コミュニケーションスキル③伝える力
	13	海外で働くことをイメージ		31	個人面談④　卒後ビジョンを基に
	14	一般常識ワーク＆個人面談④		32	個人面談⑤　卒後ビジョンを基に
	15	一般常識ワーク＆個人面談⑤		33	個人面談⑥　卒後ビジョンを基に
	16	前期　振り返りと課題発見		34	確認テスト・まとめ1
	17	後期の課題解決に向けたGD		35	確認テスト・まとめ2
	18	前期　振り返り		36	確認テスト・まとめ3

成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)	30%		
			成績評価	S90～100点　A80～89　B70～79点 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	■P≪課題解決型学習≫　40 %　■R≪実働実践型学習≫　20 %　■A≪主体的参加型学習≫　30%　■G≪海外体感型学習≫　10 %			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担 当 者 名	キャリアセンター　井上・(宮鍋)	
学　科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 2年生	開 講 期 必・選	通年 必修選択	授 業 時 間 数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを明確化するための知識の醸成と経験を積む。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒後Visionを磨く。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション ①アイイスブレイク　②知識アンケート	19	オリエンテーション 前期の振り返り
	2	職業観の醸成(3名のレンガ職人)	20	社会人基礎力の確認
	3	社会探究がなぜ必要か	21	自己探究　モチベーショングラフ　自分の価値観
	4	大学コースの強み	22	社会人のコミュニケーションとは
	5	社会探究の方法　ヒント	23	学生が企画する授業①
	6	インターンシップの目的　期間と時間　活用　選び方　探し方	24	学生が企画する授業②
	7	インターン対策①履歴書編	25	冬のインターンシップの準備
	8	グローバルな働き方	26	図書館　感銘を受けた本ワーク
	9	職業人講話	27	ガクチカを具体的に表現する方法
	10	インターン対策　ルールマナー編＆自己探究	28	自己PR 動画作成
	11	インターン対策　面接編	29	オンライン面接の練習
	12	夏のインターン報告会趣旨説明	30	Gディスカッション練習
	13	インターン計画	31	Gワーク練習
	14	夏のインターン報告会	32	エントリーシートの書き方
	15	自己探究　自分から見た強み　社会から見た強み	33	冬のインターン報告会
	16	先輩に学ぶ	34	自分のありたい姿、磨き直しワーク
	17	社会探究ワーク	35	自分のありたい姿、磨き直しワーク
	18	社会探究ワーク	36	自分のありたい姿、磨き直しワーク

成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)	30%		
			成績評価	S90～100点　A80～89　B70～79点 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	■P≪課題解決型学習≫　40 %　■R≪実働実践型学習≫　20 %　■A≪主体的参加型学習≫　30%　■G≪海外体感型学習≫　10 %			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	一般常識Ⅱ		担 当 者 名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	″数学　高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要を思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語　コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会　社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。″				
授業概要	″数学　必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語　漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会　日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。″				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	数学　中間テスト1回目　国語　語句の読みと意味
	2	オリエンテーション	20	数学　中間テスト2回目　国語　日本文学
	3	オリエンテーション	21	数学　中間テスト2回目　国語　日本文学
	4	国語　オリエンテーション 数学　百分率・歩合	22	数学　百分率・歩合・速度　国語　成績判定試験
	5	数学　速度　国語　漢字の読み・諺	23	数学　単位・比例と比例式　社会　民主主義
	6	数学　単位　国語　授業のみ	24	数学　小テスト　社会　日本国憲法
	7	数学　比と比例式　国語　漢字の読み・諺	25	数学　倍数・約数　社会　国際社会
	8	数学　倍数・約数　国語　慣用語・常用漢字外	26	数学　因数分解　社会　資本主義経済・企業
	9	数学　因数分解　国語　漢字一字の書き取り	27	数学　小テスト　社会　国民経済・日本の経済
	10	数学　一次方程式　国語　二字熟語の書き取り	28	数学　一次方程式・連立方程式　社会　貨幣・金融・財政
	11	数学　連立方程式　国語　同訓異字の書き取り	29	数学　二次方程式　社会　日本史(近世・近代・現代)
	12	数学　二次方程式　国語　同音異義語の書き取り	30	数学　小テスト　社会　世界史
	13	数学　図形の面積　国語　同音異義語の書き取り	31	数学　図形の面積　社会　日本地理
	14	数学　図形の体積　国語　対義語・類義語の書き取り	32	数学　図形の体積　社会　世界地理
	15	数学　一次関数　国語　似形異字の書き取り	33	数学　小テスト　社会　思想・社会・文化
	16	数学　二次関数　国語　書き誤りやすい漢字	34	まとめ
	17	数学　場合の数　国語　同字異音・異訓の読み書き	35	まとめ
	18	数学　確率　国語　四字熟語の読み書きと意味	36	まとめ

成績割合	テスト	数学 60%　国語・社会 40%	学習FB方法	成績通知
	学習態度・出席率	数学 40%　国語・社会 0%		
	レポート	数学 0%　国語・社会 40%	成績評価	S90～100点　A80～89点　B70～79点　C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫25%　R≪実働実践型学習≫25%　A≪主体的参加型学習≫25%　G≪海外体感型学習≫25%			
講師プロフィール	″数学担当　最終学歴:岩手大学工学部。国内大手及び外資系機械メーカー勤務の後、理数系科目の講師を勤める。 国語・社会担当　最終学歴:慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドヴァイザリー業務の傍ら、英語・国語・社会の講師を勤める。″			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	特別講座2A 大学支援　総合Ⅱ		担 当 者 名	若林 芳勝	
学　科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目（全8科目）の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 （ラーニングアウトカムズ）	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、リポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「ビジネス倫理」「人間関係の心理学」「人材マネジメント論入門」「ストリートファッション論」「企業家に学ぶ経営」「地域コミュニティ活動と社会貢献」「リーダーシップ論」「チームマネジメント論」				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	講義
	2	オリエンテーション	20	講義
	3	講義	21	講義
	4	講義	22	講義
	5	講義	23	講義
	6	講義	24	講義
	7	講義	25	講義
	8	講義	26	講義
	9	講義	27	講義
	10	講義	28	講義
	11	講義	29	講義
	12	講義	30	講義
	13	講義	31	講義
	14	講義	32	講義
	15	講義	33	講義
	16	講義	34	講義
	17	定期試験に向けて総まとめ	35	定期試験に向けて総まとめ
	18	定期試験に向けて総まとめ	36	定期試験に向けて総まとめ

成績割合	テスト	なし	学習FB方法	前期後期成績発表
	学習態度・出席率	50%		
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100　A80～89　B70～79 C60～69 D59以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫25%　R≪実働実践型学習≫25%　A≪主体的参加型学習≫25%　G≪海外体感型学習≫25%			
講師プロフィール	経営学の知識は社会に出てから必ず必要とされます。一緒に学習しましょう。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	総合講座Ⅱ		担 当 者 名	宮坂 友造	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	この講義は中央大学通信教育部の単位取得を目指し学習する授業となります。対象科目は、民法1(総則)、民法2(物権)、民法5(親族・相続)、刑法各論となります。これらの科目についての基礎知識、また単位取得のために必要なレポート作成の仕方を習得することを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	第一の目標は中央大学の単位取得となります。また、その過程で法的知識の習得、法の解釈の仕方、事例問題の解決力等を身につけることも目標とします。				
授業概要	民法1, 民法2、民法5、刑法各論のレポート課題につき、論点の正確な把握、論文の構成の仕方、また関連する判例の読み方を学んでいきます。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション①	19	刑法各論第2課題の解説②
	2	オリエンテーション②	20	民法1第3課題の解説①
	3	オリエンテーション③	21	民法1第3課題の解説②
	4	民法1第4課題の解説①	22	民法1第1課題の解説①
	5	民法1第4課題の解説②	23	民法1第1課題の解説②
	6	民法1第2課題の解説①	24	民法2第3課題の解説①
	7	民法1第2課題の解説②	25	民法2第3課題の解説②
	8	民法2第1課題の解説①	26	民法2第4課題の解説①
	9	民法2第1課題の解説②	27	民法2第4課題の解説②
	10	民法2第2課題の解説①	28	民法5第3課題の解説①
	11	民法2第2課題の解説②	29	民法5第3課題の解説②
	12	民法5第1課題の解説①	30	民法5第4課題の解説
	13	民法5第1課題の解説②	31	刑法各論第3課題の解説①
	14	民法5第2課題の解説①	32	刑法各論第3課題の解説②
	15	民法5第2課題の解説②	33	刑法各論第4課題の解説
	16	刑法各論第1課題の解説①	34	まとめ①
	17	刑法各論第1課題の解説②	35	まとめ②
	18	刑法各論第2課題の解説①	36	まとめ③

成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期成績表送付
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫5%			
講師プロフィール	中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	総合講座Ⅱ		担 当 者 名	原 祥	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	日大英文学科の所定の科目を修得する。教員のサポートを受けながら、レポートを作成し、科目修得試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	以下の日大科目に合格する。 1. 英語Ⅰ (2単位) 2. 英語音声学(4単位) 3. 英文法(4単位)				
授業概要	教科書の理解、レポート課題作成、科目修得試験対策、定期試験				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	英語Ⅰレポート課題	19	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題2
	2	英語Ⅰレポート課題	20	英文法レポート課題2
	3	英語Ⅰレポート課題、英語Ⅰ試験対策	21	英文法レポート課題2
	4	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:調音器官、単音について	22	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	5	休講(みどりの村)	23	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	6	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:母音・子音	24	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	7	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:母音・子音	25	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	8	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:母音・子音	26	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	9	英語音声学:語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	27	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	10	英語音声学:語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	28	英語文学概説レポート課題1
	11	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題1	29	英語文学概説レポート課題1
	12	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	30	英語文学概説レポート課題2
	13	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	31	英語文学概説レポート課題2
	14	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	32	スピーチコミュケーションレポート課題
	15	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	33	英作文レポート課題
	16	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	34	まとめ
	17	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	35	後期期末試験
	18	前期期末試験	36	試験返却

成績割合	テスト	20%	学習FB方法	口頭
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	70%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫60%　R≪実働実践型学習≫40%　A≪主体的参加型学習≫40%　G≪海外体感型学習≫100%			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	総合講座Ⅱ		担 当 者 名	月本 直子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	「国文学史Ⅰ」では日本文学史に特徴的な構造を理解し、歴史の流れの中における文学の位置づけを理解する。「国語学概論」では日本語学の多彩な研究領域及びそのその周辺領域に関する知識を身に付ける。「国文学史Ⅱ」では日本の近現代文学史の流れについて学び、主たる作家の文学史的意味付けを理解する。				
授業目標 （ラーニングアウトカムズ）	日本大学通信教育部における「国文学史Ⅰ」「国語学概論」「国文学史Ⅱ」の三科目に関するリポート課題の合格及び科目修得試験の合格を見込める力を付ける。				
授業概要	いずれの科目も講義形式を中心として行う。理解の助けとして教科書内容に即したプリントを適宜使用しつつ力を付けていく。また、科目ごとに約2000字のリポート二編が課題となっているので、それらを作成するため筋道を立てて文章をまとめる技術も習得する。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	講義概要説明	19	国語学概論 「文章と文体」
	2	国文学史Ⅰ 「日記と随筆」	20	国語学概論「敬語」
	3	国文学史Ⅰ リポート作成	21	国語学概論「日本語教育」
	4	国文学史Ⅰ 和歌	22	国語学概論 「心理言語学」
	5	国文学史Ⅰ リポート作成	23	リポート作成
	6	国文学史Ⅰ 上代の文学概観	24	国文学史Ⅱ 「文明開化と『文学』の変容」
	7	国文学史Ⅰ 「上代の文学 神話・伝説・説話」	25	国文学史Ⅱ 「明治中期の小説」
	8	国文学史Ⅰ 中古の文学概観	26	国文学史Ⅱ 「自然主義文学」
	9	国文学史Ⅰ 「中古の文学 物語の発生と展開」	27	国文学史Ⅱ 「漱石と鷗外」
	10	国文学史Ⅰ 「中古の文学 説話集と歴史物語」	28	国文学史Ⅱ 「耽美派」
	11	国文学史Ⅰ 中世の文学概観	29	国文学史Ⅱ 「白樺派」
	12	国文学史Ⅰ 「中世の文学 和歌」	30	国文学史Ⅱ 「『新思潮』と大正期教養主義」
	13	国語学概論 概要説明	31	国文学史Ⅱ 「プロレタリア文学」
	14	国語学概論 「音声と音韻」	32	国文学史Ⅱ 「新感覚派」
	15	国語学概論 「音声と音韻」	33	国文学史Ⅱ 「戦後文学」
	16	リポート作成に向けて	34	まとめ
	17	国語学概論 「意味」	35	まとめ
	18	国語学概論 「意味」	36	まとめ

成績割合	テスト	70%	学習FB方法	答案返却時に解説をする。
	学習態度・出席率	30%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 90～100 A 80～89 B 70～79 C 60～69 D 59点以下不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫60% A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫20%			
講師プロフィール	都内の中高一貫女子校で専任教員及び講師として約40年間国語を担当した経験を持つ。			